

## チャレンジ賞は外谷渉さん サフラン賞は畝本彩美さん 第19回の受賞者決まる！

30歳代までの視覚障害者を対象に、職業自立をし、視覚障害者の文化や福祉の向上に寄与する人材に贈られる、チャレンジ賞（男性）とサフラン賞（女性）。第19回の選考委員会が6月、両賞を主催する視覚障害者支援総合センター（引田秋生理事長。東京都杉並区）で開かれ、チャレンジ賞は外谷渉さん（34歳、株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン）、サフラン賞は畝本彩美さん（31歳、株式会社オズビジョン）に決定しました。なお、授賞式は7月3日にホテルグランドヒル市ヶ谷（新宿区）で行われます。

### 外谷さんと畝本さん

チャレンジ賞を受賞した外谷渉さんは、株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン 次世代セキュリティ技術研究所の職員として、新規事業・サービスの立ち上げやサイバースレットインテリジェンスに関する研究・開発に従事されています。

2016年の「isee! "Working Awards"」（公益社団法人NEXT VISION主催）では、就労事例部門・アイデア部門の2部門で受賞、2018年には「サイバーセキュリティに関する総務大臣奨励賞」を受賞されるなど、目覚ましい成果を上げられています。

同時に、視覚に障害を持つ後進に対し、セキュリティエンジニアやプログラマー、研究開発職としてのキャリア形成を支援する活動などにも積極的に取り組まれています。

サフラン賞を受賞した畝本彩美さんは、現在、株式会社オズビジョン広報室の社員として、企業サイト、公式SNSでの情報発信や情報管理、プレスリリースの作成、配信などの業務に従事されています。前職の全日空商事株式会社では、営業部門において機内用品の受発注・輸入・精算業務、さらに、事業推進部において役員秘書、カンパニー内総務、人財育成といった、多様かつ重要な業務を経験されました。

また、個人としても、障害平等研修のファシリテーターを務められるなど、多方面でご活躍されています。

お二人とも、ご自身の職業自立の実現に加え、後進のキャリア形成・人材育成や、障害者福祉の増進に寄与する活動に積極的に取り組まれたことなどが評価されました。

## 両賞について

チャレンジ賞は高橋実（当センター創業者）の「名を成した人へ贈る賞ではなく、これからの若手を励ますような賞をつくりたい」という夢と、当時、視覚障害者用福祉機器メーカー、ケージーエス株式会社の社長だった榑松武男（当センター前理事長）の「若い視覚障害者が努力すれば報われるという環境づくり」という理念が結実し、2003年、同社の創立50周年を記念した基金の寄付を受けて創設されたものです。

サフラン賞は、2003年に解散した財団法人東京サフランホームの残余財産を基金として同年創設されました。同ホームは、視覚障害女性のための全寮制の自立施設で、マッサージなどの施術を行いながら実技や生活などの訓練を実践していました。

受賞者の喜びの声は来月号でお届けします。